

Link

令和7年度
第5号



Contents 目次

- | | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|----|
| ●組合トピックス(秋の唐津焼展) | | | |
| ●年頭のご挨拶 佐賀県中央会 福岡会長 | 1 | ●諸富家具木工コンテスト/ | |
| 全国中央会 森会長 | | 佐賀税務署からのお知らせ(確定申告) | 13 |
| 商工中金 関根代表取締役社長 | | ●【連載】SAGALしてみらんね 寄ってみらんね | 14 |
| ●労働事情実態調査について | 4 | (伊万里鍋島焼協同組合/佐賀県陶磁器工業協同組合) | |
| ●第77回中小企業団体全国大会広島大会開催 | 7 | ●中央会の活動動向 | 15 |
| ●景況NEWS 令和7年9月~10月 | 8 | ●生コン組合消防訓練/行事予定/編集後記 | 16 |
| ●佐賀県中小企業青年中央会PRESS R07-05 | 12 | ●火災共済(さが共済) | |

NO.273

唐津焼協同組合

秋の唐津焼展が開催されました！



11月21日（金）～24日（月）の期間で、唐津焼が一堂に会する「秋の唐津焼展」が、唐津市ふるさと会館アルピノ常設展示場で開催されました。

2025年秋の展示テーマは「皿・鉢展」。秋の展示恒例となったこの特別展は唐津の街にリピーターと新たな客層を呼び込みました。出展作品の選定と展示レイアウトは全て窯元さん。こだわりの展示スペースには、あたたかみのある独特の味わいが人気の唐津焼の新作がずらりと並び、多くの方がお気に入りの一品を探し求め、大変賑わっていました。

唐津焼の特徴

唐津焼は茶道具が特に有名ですが、日常使いの食器からインテリアなど、幅広い用途で人気があります。最近では若年層からの注目を集めており、フリーカップやマグカップ、アクセサリ入れとしても使える豆皿を求め、来店されることが多いそうです。

また、裏面に窯印を彫っているのが大きな特徴です。窯元オリジナルの印を確認する姿は、まさに唐津焼上級者。唐津焼を目にした際は確認してみてください！



「Shibui」がトレンド

近年、インバウンド＆海外の日本料理店で唐津焼が多く利用されている影響もあり、多くの外国人観光客が唐津を訪れています。唐津焼の「渋さ」が大人気とのことで、佐賀の唐津焼から世界の唐津焼になる日も近いかもしれません。中でも豆皿（写真左）が唐津焼入門品として人気を博しています！



唐津の活性化に貢献するために

長年、春と秋に展示会を実施。さらに、唐津のイベントに合わせて開催することで唐津の活性化・集客に貢献されています。今回は11月22日（土）～24日（月）の期間に開催された、唐津窯元ツーリズムに併せて行われました。「窯元ツーリズム」とは、唐津の窯元を訪ね歩く特別な催しで、毎年秋ごろ開催されています。普段は立ち入ることができない作業場を見学したり、陶芸家によるおもてなしを体験できたりと唐津でしか味わえない特別なひとときを過ごすことができます。組合が運営する総合展示・販売場には、ツーリズムに参加している窯元の商品が数多く置かれています。普段から唐津焼を肌で感じることができますので、唐津に行かれた際は是非お立ち寄りください！



唐津焼協同組合

〒佐賀県唐津市新興町2881-1ふるさと会館アルピノ2F

☎ 0955-73-4888

営業時間 9:00～18:00 （定休日 木曜日、年末年始）

今回の取材は事務局の畠山さんにご協力いただきました。ありがとうございました！

年頭のご挨拶



佐賀県中小企業団体中央会
会長 福岡 桂

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様、関係各位には本会の運営に対しまして、温かいご支援・ご協力を賜りましたことを先ずもって心より御礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が開催され、世界中から2,500万人を上回る来場者があり、賑やかな話題となりました。

また、国内経済は10月に発足した新政権への期待感などを受けた株価が過去最高値を更新、その追い風を受けての設備投資の高まりなどの景気の良い話もありました。

ただ、私ども中小・小規模事業者にとりましては依然として厳しい状況が続いた年でありました。長期化するエネルギー・原材料価格の高騰・高止まり、思うように進まない価格転嫁、人手不足や人材確保難、上昇の一途をたどる物価を上回る賃上げ要求、事業承継・事業引継ぎ問題、DX等への対応など、多くの課題が山積しております。

加えまして、ますます混迷化する国際情勢やトランプ関税の影響も大きなものがあります。

このような状況下、私ども中央会では令和7年度の組織目標を「会員のために 人のために 社会のために ～「全国大会2028さが」の成功に向けて地域に貢献できる中央会を目指す～」と掲げ、4月には組織目標達成に向けてより一層の組織強化、会員組合や関係機関との連携強化を図るため、新たに「組織強化部長」のポストを配し、皆様との関係を今一度より強固なものとするべく、皆様との関係づくりに取り組んでまいりました。

また、実施事業につきましては、本来の支援業務はもとより、生産性向上に資するための「ものづくり補助金」や「省力化投資補助金」の事務局を担うなど、積極的に受託事業に取り組むことで、会員の皆様方のお役に立てるよう推進しております。

加えて、令和10年度に開催を計画している「全国大会2028さが」の成功に向け今年度は「全国大会準備委員会」を、また2050年に向けて「カーボンニュートラル推進会議」を設置するなど、組織目標達成に向けた取り組みも、着々と進めているところです。

今後も会員組合・組合員の皆様方とも積極的に交流の場を設けて、気軽に接する機会を増やし、さらに皆様方の声にも耳を傾けていきたいと考えております。

また、その声を国及び自治体に対して届けるべく、中小企業・小規模事業者への支援強化に向けた各種要望活動を、全国中央会とともに行ってまいります。

皆様には、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年は午年。馬の力強く駆け抜ける姿から、新しい一年を勢いよく切り開く「活力」や「前進」の象徴と言われているようでございます。

皆様とともに、この厳しい環境を力強く乗り越える年にしたいと考えております。

本年が、皆様方にとりまして更なる成長と発展の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会
会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、戦後80年の節目の年でした。中小企業・小規模事業者は、激変する経済環境の中で多くの困難な課題を克服しながら、その時々々の経済、社会環境に対応出来るよう積極果敢に挑戦を続け、わが国経済の発展に大きな役割を果たして参りましたが、現在、新たな経営課題が山積しております。関税の引上げをはじめとする自国中心的な政策の影響が世界経済に大きな影響を与え、国内でもインバウンド消費額も影響を受けることに加え、依然として物価高騰が続く中での人手不足と賃上げへの対応が急務となるなど、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年11月12日に広島県広島市で開催した第77回中小企業団体全国大会では、関係省庁・関係機関をはじめ多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約2,100名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議しました。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化していることを踏まえつつ、十分な価格転嫁と取引適正化、物価高を上回る賃上げ、事業承継・事業引継、自然災害対策、DXやGXの推進、新分野展開、ものづくり補助金や省力化投資補助金による生産性向上、リスクリング等の「人への投資」、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応策などの最重要事項については、中小企業組合等連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も中小企業と組合が我が国の力強い成長を実現する原動力であることを強く思いながら、会員の皆様との連携を一層強化し、対応して参ります。

結びに、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、大きく飛躍・発展していく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様の情熱に満ちたご活動が実を結び、力強く飛躍される年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和8年元旦

年 頭 所 感

商工中金

代表取締役社長 グループCEO 関 根 正 裕



令和8年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は、個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要は好調であった一方で、物価や賃金上昇、金利のある世界への移行、米国の通商政策、AI・ロボティクス技術の急速な進化等、日本経済を取り巻く環境が大きく変化した1年となりました。

当金庫においては、2025年6月の政府保有株式の全部売却完了と改正商工中金法の施行により、民営化という大きな転機を迎えることとなりました。この民営化により当金庫は「中小企業による中小企業のための金融機関」として、そして「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」というPURPOSEの実現に向けた新たなスタートラインに立ちました。

こうした中、今後、私たちがどのような立ち位置で社会と向き合うべきか、どのような価値を創出すべきかという観点で「商工中金グループのありたい姿」の議論を重ね、この度、長期戦略の骨子を策定しました。その核となる概念が、中小企業を個社として捉えるのではなく、その集合体として捉える「中小企業経済圏」です。

中小企業と地域社会にかかわる多様なステークホルダーが集まる「中小企業経済圏の拡大・活性化を通じて、圏の参加者の価値向上に貢献し続ける」という「商工中金グループのありたい姿」を設定しました。当金庫は、単なる金融機関の枠を超えて「集めて・つなげて・価値を創る」プロデューサーの役割を果たし、中小企業と地域社会にかかわる多様なステークホルダーと、ともに考え、ともに創り、ともに変わりつづけます。

また、中小企業経済圏の拡大に向けて「Industry(産業課題解決)・Innovation(スタートアップ支援)・Investment(エクイティ業務や高度ファイナンス)・Traditional Banking(伝統的な銀行業務の深化)・Turn Around(再生支援)」という5つの注力分野を設定しました。従来の枠組みにとらわれない柔軟でダイナミックな経営を実現するため、デジタル技術やAIを活用した経営の高度化を推進し、業務の効率化のみならず、お客さまとの接点の質の向上と深い関係性の構築を図ってまいります。

これらの取組みを通じて「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」というPURPOSEの実現を目指してまいります。

おかげさまで商工中金は本年12月に創立90周年を迎えます。この場をお借りして、ご支援いただいた様々なステークホルダーの皆さまへ感謝申し上げるとともに、引き続き皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

特集

R7年度 佐賀県の労働事情

中央会では、中小企業における労働事情を的確に把握し適正な労働対策を樹立することを目的として、毎年7月1日を調査時点として全国一斉に「中小企業労働事情実態調査」を実施しています。

本年度も会員組合等のご協力を得て調査を実施し、その集計結果を下記のとおり取りまとめましたので、その一部を掲載します。

なお、詳細につきましては、本会HP (https://www.aile.or.jp/research/_1761.html) に掲載しております。

(注1:各表の数値は端数処理の関係で、合計が100%にならない場合があります。)

(注2:各表の数値で表示の都合上、0.0%となっている箇所は小数第3位に数値が入っていること、空欄の箇所はデータなしということを表します。)

[回答状況]

	調査対象事業所	有効回答事業所	回答率
全業者	629	365	58.0%
製造業	340	177	52.0%
非製造業	289	188	65.0%

[規模別回答状況]

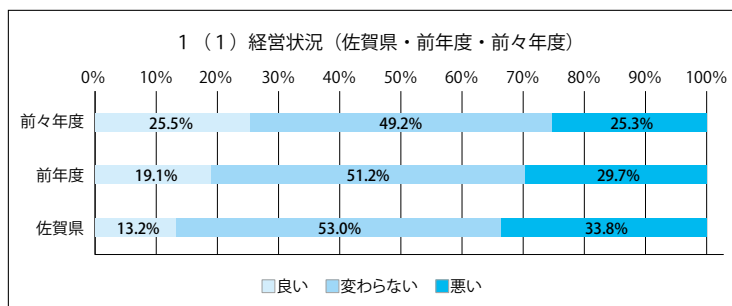
(上段：事業所数)

規模	1～9人	10～29人	30～99人	100～300人	合計
全 国	5,294	5,302	3,719	1,056	15,371
	34.4%	34.5%	24.2%	6.9%	100.0%
佐賀県 計	170	118	54	23	365
	46.6%	32.3%	14.8%	6.3%	100.0%
製造業	86	50	27	14	177
	48.6%	28.2%	15.3%	7.9%	100.0%
非製造業	84	68	27	9	188
	44.7%	36.2%	14.4%	4.8%	100.0%

1. 経営について

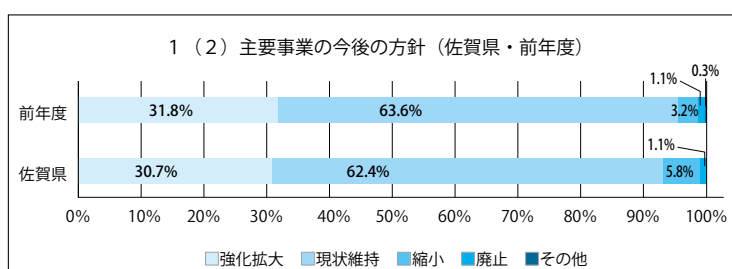
(1) 1年前と比べた経営状況

「良い」は13.2%(前年度比－5.9ポイント)で下降し、「悪い」は33.8%(前年度＋4.1ポイント)で悪化した。



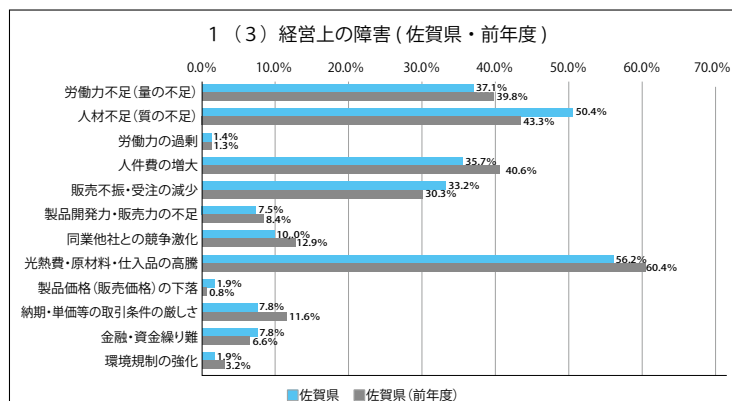
(2) 主要事業の今後の方針

「現状維持」が62.4%、「強化拡大」は30.7%、「縮小」は5.8%となっており「強化拡大」は前年度よりも1.1ポイント低くなっている。



(3) 経営上の障害

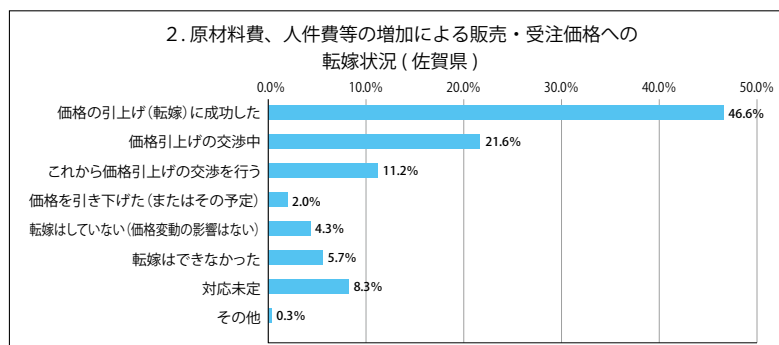
最も高かったのは「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が56.2%(前年度比－4.2ポイント)で、「人材不足(質の不足)」は50.4%(前年度比＋7.1ポイント)で最も上がり幅が大きかった。



2. 原材料費、人件費アップ等に対する販売価格への転嫁状況

転嫁状況

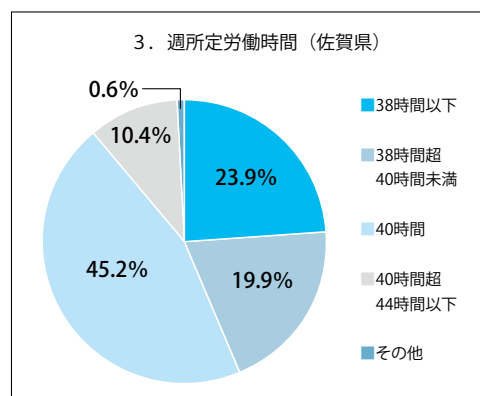
「価格の引上げ（転嫁）を実現した」が46.6%、「価格引上げの交渉中」が21.6%、「これから価格引上げの交渉を行う」が11.2%、「価格を引き下げた（またはその予定）」が2.0%、「転嫁はしていない（価格変動の影響はない）」が4.3%、「転嫁はできなかった」が5.7%、「対応未定」が8.3%、「その他」が0.3%であった。



3. 従業員の労働時間について

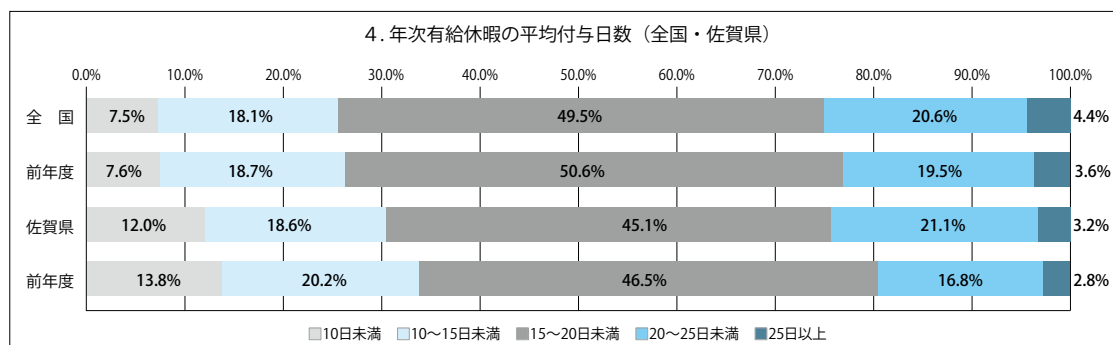
週所定労働時間

「40時間」が最も多く45.2%、次いで「38時間以下」23.9%、「38時間超40時間未満」19.9%となっており、法定労働時間の「40時間」以下は89%で、「全国」と比べて2.0ポイント低くなった。



4. 従業員の有給休暇の付与日数について

「15～20日未満」が最も多く45.1%、次いで「20～25日未満」が21.1%、「10～15日未満」が18.6%と続いており、平均付与日数は15.70日で前年度より0.48日増加した。



5. 新規学卒者の採用について

（1）令和7年3月 新規学卒者の採用計画の有無

「採用計画を行わなかった」が77.8%で最も高く、次いで「採用計画をし、実際に採用した」が11.6%、「採用計画をしたが、採用しなかった」が10.5%となった。

「全国」でも「採用計画を行わなかった」が72.7%で最も高かったが、「佐賀県」より5.1ポイント低く、次いで「採用計画をし、実際に採用した」は14.1%であり、「佐賀県」より2.5ポイント高くなった。

	採用計画をし、実際に採用した	採用計画をしたが、採用しなかった	採用計画を行わなかった
全 国	14.1%	13.2%	72.7%
佐賀県	11.6%	10.5%	77.8%

(2) 令和7年3月 新規学卒者の採用充足状況

「全国」の回答をみると、「高校卒」では「技術系」30.6%、「事務系」46.9%、「専門学校卒」では「技術系」33.1%、「事務系」48.3%、「短大（含高専）」では「技術系」16.3%、「事務系」が31.7%、「大学卒」では「技術系」33.5%、「事務系」が54.8%であった。全体では、「技術系」の充足率が30.5%、「事務系」が49.3%であり、「技術系」に比べて「事務系」の充足率が高くなっている。

一方、「佐賀県」では、「高校卒」の「技術系」では37.4%、「事務系」では34.1%、「専門学校卒」の「技術系」では43.5%、「事務系」では62.5%、「短大（含高専）」では「技術系」22.2%、「事務系」25.0%、「大学卒」では「技術系」40.0%、「事務系」が42.9%であった。全体では、「技術系」の充足率が37.7%、「事務系」が37.3%であり、「技術系」の充足率が高くなっているが、「合計」の充足率は「全国」と比べて「技術系」では7.2ポイント高く、「事務系」で12ポイント低い結果となった。

①新規学卒者の採用充足状況（全国）

	技術系					事務系				
	事業所数	採用計画人数	採用実績人数	充足率	平均採用人数	事業所数	採用計画人数	採用実績人数	充足率	平均採用人数
高校卒	2,699	6,267	1,917	30.6%	0.71	617	1,227	575	46.9%	0.93
専門学校卒	958	1,664	551	33.1%	0.58	205	331	160	48.3%	0.78
短大（含高専）	539	864	141	16.3%	0.26	160	249	79	31.7%	0.49
大学卒	1,241	2,489	833	33.5%	0.67	680	1,410	772	54.8%	1.14
合計	5,437	11,284	3,442	30.5%	0.63	1,662	3,217	1,586	49.3%	0.95

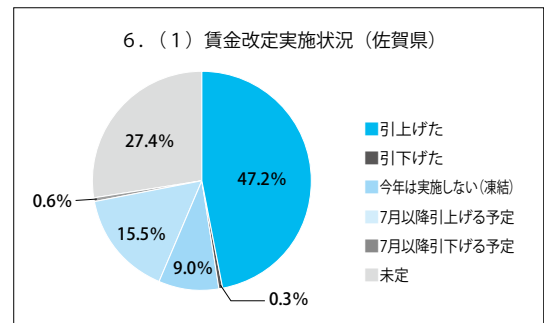
②新規学卒者の採用充足状況（佐賀県）

	技術系					事務系				
	事業所数	採用計画人数	採用実績人数	充足率	平均採用人数	事業所数	採用計画人数	採用実績人数	充足率	平均採用人数
高校卒	61	174	65	37.4%	1.07	14	41	14	34.1%	1.00
専門学校卒	12	23	10	43.5%	0.83	5	8	5	62.5%	1.00
短大（含高専）	5	9	2	22.2%	0.40	1	12	3	25.0%	3.00
大学卒	13	30	12	40.0%	0.92	8	14	6	42.9%	0.75
合計	91	236	89	37.7%	0.98	28	75	28	37.3%	1.00

6. 賃金改定について

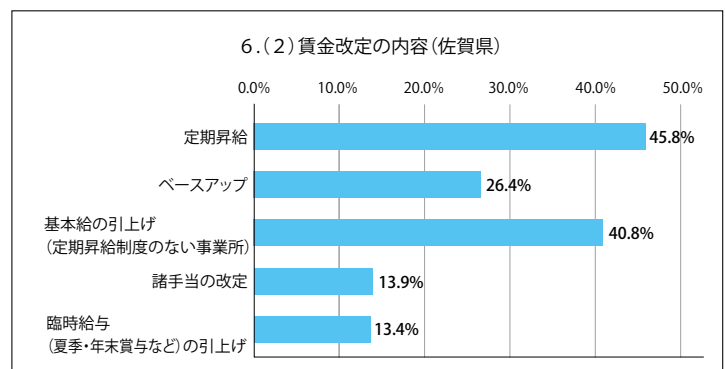
(1) 賃金改定実施状況

賃金を「引上げた」47.2%と「7月以降引上げる予定」15.5%を合わせて62.7%となった。



(2) 賃金改定の内容

賃金改定について、「引上げた」、「7月以降引上げる予定」と回答した事業所に対して「賃金改定の内容」についてたずねたところ、「佐賀県」では「定期昇給」の割合が最も高く45.8%、次いで「基本給の引上げ（定期昇給制度のない事業所）」40.8%、「ベースアップ」26.4%、「諸手当の改定」13.9%「臨時給与（夏季・年末賞与など）の引上げ」13.4%となっている。



お忙しい中、本調査にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

本調査は毎年実施しております。来年度の調査も引き続きご協力くださいますようお願いいたします。



第77回中小企業団体全国大会広島大会 盛会裏に開催

去る11月12日(水)、広島県広島市「広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)」にて、第77回中小企業団体全国大会が開催されました。大会には全国から中小企業団体の代表者等約2,100名(うち、本県からの参加者は32名)が参加しました。決議項目としては「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など15項目を決議しました。また、本大会後には、全国から集う参加者同士の交流を深めることを目的に、大会参加者を対象とした「交流会」を広島県中央会が開催し、約1,100名が参加、交流を深めました。



全国大会表彰・本県関係の被表彰者

優良組合



佐賀県陶磁器商業協同組合
理事長 金子真次 氏

組合功労者



佐賀県電器商業組合
理事長 松下義孝 氏

被表彰者の皆様、おめでとうございます

次期開催地



次期全国大会については、令和8年11月19日(木)に、熊本県熊本市において開催することが発表されました。来年の全国大会へのご参加もよろしくお願いいたします。

第77回中小企業団体全国大会の決議事項等につきましては、全国中小企業団体中央会のホームページに掲載されております。右記のQRコードよりアクセスしてご覧ください。



景況NEWS

令和7年9～10月

佐賀県内中小企業36業界の景況

中央会では、県内36業界より情報連絡員を委嘱し、毎月その業界の景況等についてご報告を頂いております。

ご報告頂いた令和7年9～10月分の景況は下記の傾向を示しています。

なお、全国中央会が取りまとめている全国の調査結果をご希望の方は本会までご連絡下さい。
全国中央会ホームページ (<https://www.chuokai.or.jp/index.php/category/news-keizai/>)
からもご覧いただけます。

9～10月の傾向

(調査票取りまとめ：令和7年11月20日 情報連絡員総数36名：9月回答数34名、回答率94.4%、10月回答数33名、回答率91.7%)

今期(9-10月期)の月次景況調査結果について<前月比>DI(全業種)でみると、主要指標「売上高」は、9月は5.9で、8月の▲22.9より28.8ポイント増加し、10月は15.1とさらに9.2ポイント増加した。「収益状況」は、9月は▲5.9、10月は▲3.0と、マイナス値で推移している。「業界の景況」については、9月は0.0、10月は▲12.1と、マイナス値で推移している。

一方、<前年同月比>DI(全業種)をみると、「売上高」については、9月が▲20.6、10月は▲9.1と改善傾向が見られる。「収益状況」については、9月は▲29.4で、10月も▲15.2と、マイナス値だが若干の回復が見られる。「業界の景況」についても、9月は▲26.5、10月は▲18.2となり、マイナス値が続いており、全体的に依然として厳しい状況が続いている。

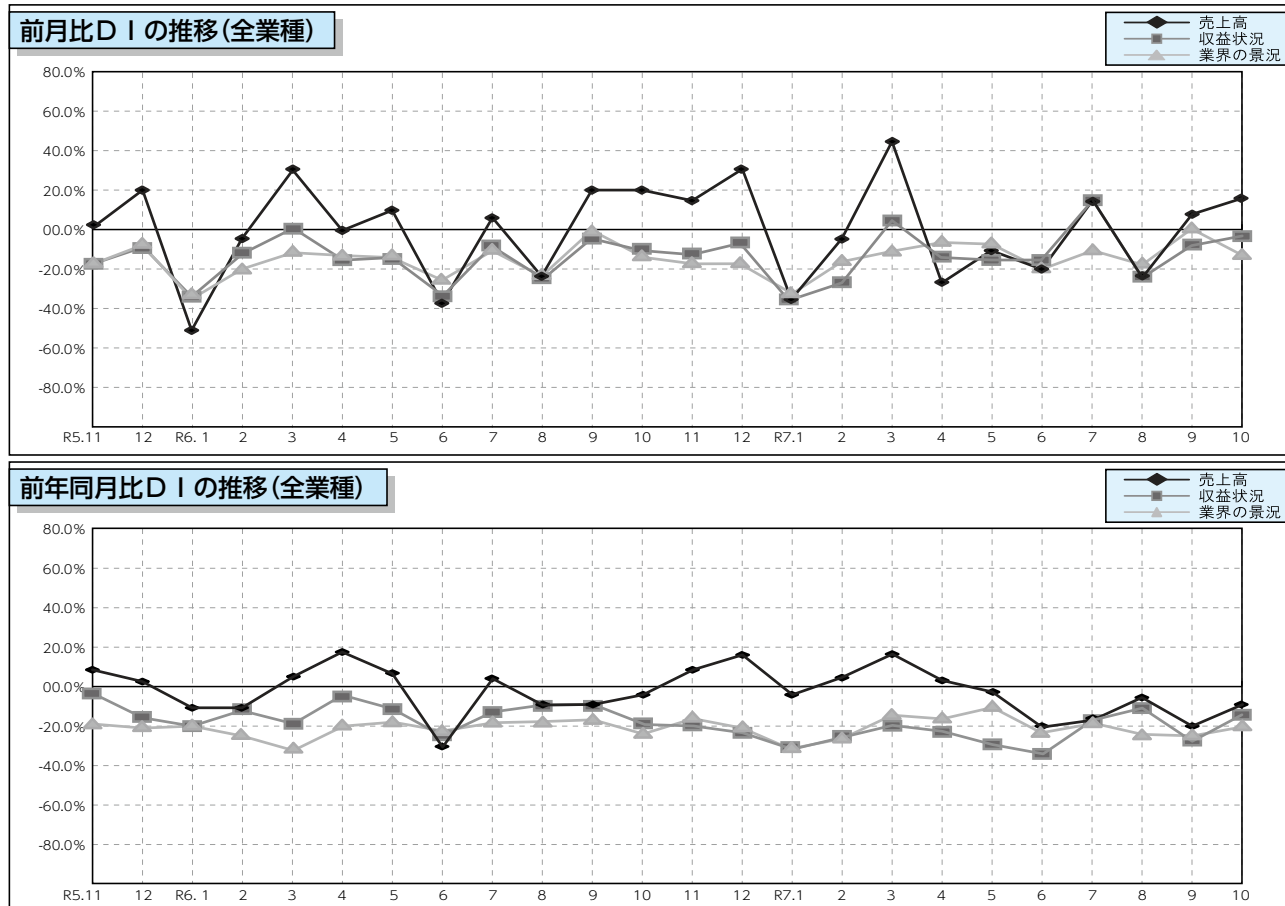
●DI[景気動向指数]値(全業種)

上段が9月分、下段が10月分

	前 月 比					前 年 同 月 比				
	↗	→	↘	DI	評価	↗	→	↘	DI	評価
売上高 [DI]=[増加]－[減少]	29.4%	47.1%	23.5%	5.9%	😊	20.6%	38.2%	41.2%	-20.6%	😞
	30.3%	54.5%	15.2%	15.1%	😊	18.2%	54.5%	27.3%	-9.1%	😊
在庫数量 [DI]=[減少]－[増加]	8.7%	73.9%	17.4%	8.7%	😊	4.3%	82.7%	13.0%	8.7%	😊
	18.2%	77.3%	4.5%	-13.7%	😞	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	😊
販売価格 [DI]=[上昇]－[低下]	20.6%	79.4%	0.0%	20.6%	😊	47.1%	50.0%	2.9%	44.2%	😊
	15.2%	81.8%	3.0%	12.2%	😊	39.4%	57.6%	3.0%	36.4%	😊
取引条件 [DI]=[好転]－[悪化]	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	😊	2.9%	94.2%	2.9%	0.0%	😊
	0.0%	97.0%	3.0%	-3.0%	😊	6.1%	90.9%	3.0%	3.1%	😊
収益状況 [DI]=[好転]－[悪化]	8.8%	76.5%	14.7%	-5.9%	😊	0.0%	70.6%	29.4%	-29.4%	😞
	6.1%	84.8%	9.1%	-3.0%	😊	3.0%	78.8%	18.2%	-15.2%	😞
資金繰り [DI]=[好転]－[悪化]	2.9%	91.2%	5.9%	-3.0%	😊	0.0%	88.2%	11.8%	-11.8%	😞
	0.0%	93.9%	6.1%	-6.1%	😊	3.0%	84.9%	12.1%	-9.1%	😊
設備操業度 [DI]=[上昇]－[低下]	21.4%	78.6%	0.0%	21.4%	😊	7.1%	78.6%	14.3%	-7.2%	😊
	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%	😊	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%	😊
雇用人員 [DI]=[増加]－[減少]	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	😊	0.0%	91.2%	8.8%	-8.8%	😊
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	😊	3.0%	84.9%	12.1%	-9.1%	😊
業界の景況 [DI]=[好転]－[悪化]	8.8%	82.4%	8.8%	0.0%	😊	0.0%	73.5%	26.5%	-26.5%	😞
	0.0%	87.9%	12.1%	-12.1%	😞	0.0%	81.8%	18.2%	-18.2%	😞

😊=良い (DI>30%)、😊=やや良い (30%≥DI>10%)、😊=変わらない (10%≥DI>-10%)
😞=やや悪い (-10%≥DI>-30%)、😞=悪い (DI≤-30%)

●DI（景気動向指数）値の推移



< 業界通信 > 令和7年9月～10月

■佐賀県菓子工業組合 理事長 中原正博 氏

全体的に物価高や節約志向の影響があるので、商品の選別、買う数量の低下などの傾向が出ている。販売価格が上がっているの、売上、数字的には影響はまだ小さいが、菓子の需要は弱い。原材料を含め、製造コスト、人件費、人手不足も重なり、各事業所、製造する商品において景況感の温度差は大きくなってきている。お彼岸等の行事菓子は、少なくなっているが、底堅い需要がある。販売価格への転嫁は、市場を見ながら、少しずつ行われている。(9月)

菓子の需要は、この時期としてはやや弱い感じであったが、全体的に販売価格が上昇傾向にあるので、販売数量は減少しているが売上の確保はできているように感じる。販売地域によってはイベントなどがあっている佐賀駅周辺、通りを含めた地域はある程度好調に推移した。

現在の菓子の需要は各事業所が製造する商品において景況感に温度差があり、一律に堅調であるということではない。原材料関係の価格は高止まりで、雇用関係は人件費など上昇しているが、人手不足が続いている状況は変わらない。(10月)

■佐賀県酒造協同組合 事務局長 山崎みち子 氏

佐賀県産酒類の出荷量については、前年対比で日本酒は107%と増加、本格焼酎は94%と減少した。輸出については、日本酒は前年対比で63%と落ち込んだが、焼酎は300%超えで増加している。R7年産の原料米の価格が提示されたが、業界が想定していた以上に価格が高騰している。今期の酒造りの原価率が跳ね上がるため、酒類の販売価格への転嫁がどれくらいできるのか悩ましい状況が続いている。(9月)

佐賀県産酒類の出荷量については、前年対比で日本酒は107%と増加、本格焼酎は99%と若干減少した。輸出については、日本酒は前年対比117%、焼酎も276%と順調に増加している。

R7BY(酒造年度)の酒造りが始まり、原料米の購入も始まった。想定外に高騰した価格の原料米を購入するにあたり、購入費用に係る資金の調達、高騰した原料米を使った商

品の値上げなど、多種多様な問題に直面している状況。組合としては県及び国に対し、酒類業界の現状を伝え、継続的な支援等願っている。(10月)

■佐賀県漬物工業協同組合 理事長 広瀬忠伸 氏

9月は連休もあり、秋の行楽シーズンや運動会のイメージがあったが、夏の猛暑が続き人流にブレーキが掛かったようだ。相次ぐ豪雨災害も気分に影響を与えている。世界陸上東京大会や大阪万博等関東関西方面のイベントは盛況のようだが、九州地方にはマイナスに思える。さらに最低賃金の上昇も決まり、景気の上昇には程遠いと考えている。(9月)

例年のことだが10月は農繁期に入り、人の動きが減少したようだ。中旬までは暑さが残り、天候不順とまではいかなかったものの、不況感を抱いた。各地域の秋祭りシーズンなのに、盛り上がりは欠けたようだ。やはり物価高がかなり響いており、売れている商品も低価格帯である。人件費、原料不足、原料・資材の高騰等全てにおいて改善する兆しが見えない状況が続いている。(10月)

■嬉野茶商工業協同組合 代表理事 坂元雄一郎 氏

今年も全国茶品評会において、玉緑茶と釜炒り茶の部門で嬉野市の生産者さんが農林水産大臣賞を受賞された。嬉野市も産地賞を受賞し、高品質の茶が生産されているので、宣伝、販売につなげていこう努力していきたい。(9月)

秋冬番茶の価格が高騰して売値にはまらず、仕入れが困難な状況にある。一方でドリンク原料が不足しており、高値で取引されている。(10月)

■諸富家具振興協同組合 副理事長 平田尚二 氏

物価上昇の状況下での耐久消費財は相変わらず厳しい状況が続いている。家具インテリア業界では、2極化の格差がさらに広がり低価格商品への「とりあえずこれで我慢」といった消費傾向がみられるように感じる。逆に高所得者層は、こだわりの消費が見受けられ、格差がどんどん開くような感じがある。さらに11月から最低賃金の改定で、1000円

を突破する。出口の見えない販売状況で多くのコストが上昇する中、さらなる人件費の上昇を我々小規模事業所がいつまで耐えしのげるのだろうか。価格転嫁をきちんとしても売れなければ、意味をなさない状況が今の業界の現状である。(9月)

先月と同様に売上不振の状況は変わっていない。前年比の売上減少事業所が増加した状況である。若干の救いは、前年に比べると増加している事業所もあり、秋需要に入った感もある。しかしながら、景況感としてはまだまだ振るわずといったところである。消費者の心を動かす、価格では表せない価値といった新しい価値軸の創造が今後のインテリア業界に必要なのかとの意見もある中で、もっともっと知恵を絞らして、新しい価値を考え出さなければ、この状況を乗り越えるのは厳しいと思われる。(10月)

■佐賀県印刷工業組合 理事長 真崎俊夫 氏

9月の売上・収益は前月比では増加したものの、前年比ではともに減少した。9月は各種団体の九州大会や全国大会に向けて広報物等で一定の特需があったが、イベント全体の請負業者からの発注にとどまり、直接の引合いは少なかった。

官公需に於いてはローカル発注、知財権、賃上げに伴う価格転嫁への理解が一歩ずつ進んできている。全国の流れに沿っていけるよう、今後もさらに理解を深められるように継続していく。10月の佐賀市長、佐賀市議会議員選挙特需にも期待したい。(9月)

9月に引き続き印刷需要は低下の状況。昨年は国スポの特需が発生していたが、今年度はそれを補うほどの受注はなかった。佐賀市長・佐賀市議会議員選挙も行われたが大きな特需には至らなかった。価格転嫁は一定の理解は得られているものの、来年にかけて用紙、材料費の値上げのアンラウスが来ているため更なる交渉が必要となる。また、11月から最低賃金も上がり人件費の底上げによる価格転嫁の理解を求める事も大きな課題だ。

価格転嫁とデジタル化の加速により、印刷需要も減少し各社の業績にも大きく影響している。(10月)

■佐賀県陶磁器工業協同組合 業務課長 山口善広 氏

最低賃金上昇が決定したが、引上げ幅の大きさによる影響を懸念している。資材高騰や価格転嫁に対する行政の支援体制には経営への不安が和らぐ効果を実感しているという組合員の意見があった。(9月)

組合会館展示場がリニューアルオープンを迎える。観光客用に給付けやろくろを体験してもらうコーナーや企画展示コーナーの増設、組合員様の交流の場の提供により、産地のさらなる活性化に注力していきたい。(10月)

■肥前陶土工業協同組合 事務局長 一ノ瀬秀治 氏

9月の陶土共同販売高は、対前年同月比120.8%、対前月比129.5%で推移。荷動き(数量)に至っては、対前年同月比101.9%、対前月比129.7%となった。一部の期間契約の取引を除き、今回の陶土の価格転嫁は何とか受け入れていただけるように感じる。今後、各県各市町村など自治体の支援の動きが進んでいて、陶土の需要の維持、窯業界全体の生産体制の維持につながることを期待している。(9月)

10月の陶土共同販売高は、対前年同月比106.2%、対前月比70.6%で推移。10月の天草陶石の25%値上げに伴い、陶土の25%以上の値上げに至ったが、数字は思ったより伸びていない。陶土の荷動き(数量)は前年同月比△7.6%、前月比△41.2%と9月の3割程度の駆け込み需要を差し引いてもかなり動きは悪い印象。令和2年5月の新型コロナのロックダウン時と同程度の荷動きである。生産者の高齢化、人手不足、夏場の超高温化による労働環境の悪化、賃金の問題や物価高騰の影響など要因は多岐にわたる。価格が上がっても使用量が減少すれば採算が合わなくなり、さらに厳しい状況になる。どこで落ち着くのだろうか先が見えない。(10月)

■佐賀大和工業団地協同組合 事務局長 中村耕三 氏

当団地は、金属加工、機械部品製造、総合印刷業の企業が主であるが、売上面では、前月比が増加し、前年同月比も若干増加傾向となった。販売価格は前年同月比で上昇の割合が若干高かった。収益状況は不変と出たが設備操業度では、前月比、前年同月比とも上昇傾向の企業が多かった。

当団地の共同受電(19社中、17社が利用)電力使用量合計の推移では、前年同月比が6月104%、7月97%、8月90%と推移したが、9月は95%となり、8月に比べると減少幅は小さくなった。なお、9月分の電力料金負担は、使用量が前年同月比95%に下がったが、電力会社の「使用量単価」

「再エネ賦課金」の上昇から「燃料費調整額」の低下を差し引、前年同月比99%と前年度並みとなった。(9月)

売上面では、前月比が不変で、前年同月比は若干増加傾向となった。販売価格は前月、前年同月とも変わらず。収益状況は不変と出たが設備操業度では、前月比、前年同月比とも上昇傾向を示し、同じく在庫数量も増加した。

当団地の共同受電(19社中、17社が利用)電力使用量合計の推移では、前年同月比が10月は96%となり、減少傾向が続いているが、この要因は大口利用先の一部工場移転が影響している。なお10月分の電力料金負担は、使用量が前年同月比96%に下がり、電力会社の「使用量単価」「再エネ賦課金」の上昇から「燃料費調整額」の低下を差し引いて、前年同月比96%となり、使用量減と同率で下がった。(10月)

■有田焼酎同地協同組合 参事 藤 雅友 氏

9月分共販高は90,550千円、前月比119.14%。価格改定後の上乗せ分もあり数字が上向いたようだ。上乗せ分の数字を引けば前年並みの数字とほぼ変わらない動きとみている。また、迎春向けの動きなども出てきて業務用は顕著に数字を維持出来ているが、全体的には思ったような動きまでには至っていないようだ。(9月)

10月分共販高は93,283千円、前月比103.01%、前年比108.35%。昨年の10月より当組合で資金決済代行事業を取扱い、前年対比を比較することが出来るようになった。先月に続き価格改定後の上乗せ分で数字が上向いたようだ。秋口に入り徐々にではあるが、動きの方も良くなってきた感はある。季節的にも外出しやすくなり、小売りの売り上げの伸びもみられるなど今後の動きに期待したい。(10月)

■佐賀青果食品協同組合 理事長 眞崎喜隆 氏

9月に入り、残暑厳しく暑い日が続きました。青物については、発育が悪く、出荷量も少なく、青果物の出荷は高値安定での推移となりましたが、価格にも慣れてきて少しはやりやすくなったと思っています。せり場への出荷量が減少している中、それなりに安定した月ではありましたが、利益は少なく、厳しさは続いています。また、人件費の上昇で零細業者の経営状態は厳しく、組合員さんの厳しい状況が続くと、当然組合も厳しくなっていくのではと思っており、今後の課題ではないかと思っています。(9月)

10月になって初旬はまだまだ暑かったが中旬からは段々と気温も下がり、やっと秋が来たようでした。野菜もだんだんと出荷量も増え、価格も少し下がってきました。果物についても、柿、ミカン、リンゴ等の量も増えてきて、販売しやすい価格となってきました。しかしながら、人件費の上昇で配達などがなかなか難しくなっているのが現状です。(10月)

■佐賀県石油商業組合 事務局長 森永伸一 氏

今月の県内レギュラーガソリン平均価格は172.4円/ℓで、先月比で0.3円の微増であり、先月に引き続き9月についても特段の動きが見られなかった。暫定税率の廃止時期が明確になるまでは価格改定を躊躇している事業者もあるのではないかとと思われる。(9月)

今月の県内レギュラーガソリン平均価格は172.8円/ℓで、先月比で0.4円の微増であり、2ヶ月続けて特段に値動きはなかった。ガソリンの暫定税率を今年の12月31日に廃止することが、与野党間で合意された。廃止に向け11月13日から段階的に補助額を増やし、廃止のタイミングで補助も終了されることで価格の変動を抑える方法がとられる。現在ガソリンには10円の補助が出ているので、追加で15.1円の補助が上乗せされる。軽油については10円から17.1円まで増額される見込みである。消費者には混乱のないように制度の周知等対応することになるだろう。(10月)

■佐賀県食肉事業協同組合 事務局長 吉田さおり 氏

豚肉の価格が徐々に下がり少し安堵しているが、これから寒くなり鳥インフルエンザの発生も懸念され、年末に向けて牛肉・豚肉・鶏肉の供給を危惧している。ただ自然界の災難は業界で何かしらの策が講じられるものでもなく、ただただ見守るばかりである。(9月)

■鳥栖本通筋商店街振興組合 理事長 緒方俊之 氏

10/26 ハロウィンイベントを行った。(10月)

■伊万里駅通商店街振興組合 専務理事 小林宏慈 氏

過ごしやすい気温が続くといううちの人手も回復が見て取れる。各種値上げが何度もあり、最近では価格改定のお知らせ

せ等を出したままの販売店はほぼないようで、価格表・値札の差し替えのみで対応しているようだ。翌月の県民体育大会や秋祭り（おくんち）での消費行動のきっかけ作りになれるか。（9月）

■佐賀県自動車整備商工組合 専務理事 福島和則 氏

国土交通省は9月1日から10月31日までの2ヶ月の期間を「自動車点検整備推進強化月間」として定め、自動車ユーザーによる保守管理の徹底を強力に推進するため、全国的に展開している。当組合も、9月6日（土）には県下一斉に「マイカー無料点検デー」を展開しユーザーに点検入庫を促進し、また、当日は、青年部を中心に「道の駅大和そよ風館」において一般ユーザーを対象に愛車の無料点検を実施し、点検・整備の必要性や重要性を説明した。また、会場ではゲストにタレントを迎えて、地元ラジオ（FM佐賀）で点検の様を生放送し、広く点検整備の必要性を伝えた。（9月）

九州・沖縄地区の登録自動車と軽自動車を含めた令和7年度上半期（4～9月）の新車販売台数は、前年同期比1.3%増の26万2410台となり、2年ぶりに前年実績を上回った。登録販売台数は、前年同期比0.7%減の14万9621台となり、3年ぶりに前年実績を下回り、軽自動車販売台数は、前年同期比3.9%増の11万2789台となり、2年ぶりに前年超えた。なお佐賀県では登録自動車が前年同期比5.2%減の7783台、軽自動車も前年同期比3.7%減の7417台であった。（10月）

■佐賀県クリーニング生活衛生同業組合 理事長 坂本豊美 氏

・組合員さんが廃業のため退会し、組合運営も厳しい状況。材料の高騰の影響もあり厳しい。（9月）
・業界の景況も厳しく、先が不安です。（10月）

■佐賀県美容業生活衛生同業組合 主任 中島千鶴 氏

材料費等のコストや人件費の上昇は今後も続いていくため、美容室でも随時価格やメニューを変更して売り上げを増やす必要があるのですが、お客様との関係性が深い美容業は価格転嫁をしにくいのが現実です。じわじわと経営を圧迫されている小規模店舗は多いと思われます。（9月）

物価高による影響で、セルフ美容を間に入れて来店頻度が間延びするといった、消費者の節約志向が強くなっています。しかし、価値のあるサービスに対しては自身への投資として高額料金を払う傾向もあり、そういった顧客を掴めれば売り上げを伸ばすことは出来ると思われます。一方組合員店舗は高齢化が進んでおり、それに伴い客層も高齢化しているため、そういったサロンでは年金の入る偶数月の売上が伸びるとの事。（10月）

■唐津市旅館協同組合 理事長 大河内正康 氏

9月は昨年同時期と比べると日本人、外国人ともに減少となった施設が多く、特に9月初旬は猛暑の影響もあり、非常に客足が鈍かった。9月中旬から下旬にかけては堅調に推移したものの、売上は前年と比較すると減少もしくは横ばいであった。

10月、11月の予約は順調であるが、最低賃金の上昇に伴う人件費の増加、仕入れ価格の上昇が予想され、収益は悪化するものと懸念している。（9月）

2025年10月は前年同期比で110～120%と売上が増加した施設が多く、堅調に推移。暑さが一段落したことで日本人、外国人ともに増加。11月の予約も順調である。仕入れ価格の上昇や最低賃金改定による人件費の増加で、収益率は落ちている。（10月）

■佐賀県ソフトウェア協同組合 事務局長 坂井貴紀 氏

業況は例年と同程度か若干減少という状況。10月でWindows10のサポートが終了することを受け、企業や自治体の端末の入れ替え作業などが増えている。自治体は大きかりになるので事前に準備に入っているが、人材不足は続いており、前もって段取りをしていく必要がある。人材不足を補うため、顧客からの問い合わせ対応や作業時の調べ物などに人工知能（AI）を活用する検討や試行を始めているところがある。（9月）

売り上げや収益は、例年と同程度か若干減少だった。10月14日でWindows10のサポートが終了したが、一部、対策が完了していないところもあり、端末の入れ替えや、基本ソフトのバージョンアップを継続して対応しているところもある。セキュリティ等に問題があるところは、先に対応するなど優先順位をつけて実施しており、大きな混乱はない。全体的にシステムエンジニアの慢性的な不足は続いており、

各社は外注も含めて体制作りを検討している。大規模な開発については、ベトナムなど海外での「オフショア開発」も視野に入れて対応している。（10月）

■佐賀県建設工業協同組合 常務理事 島内俊幸 氏

令和7年8月の公共事業は、件数では、前年同月比で5.0%の増、前月比で15.2%の減、請負額では、前年同月比24.7%の増、前月比35.7%の増となっている。令和7年8月の住宅着工は、戸数では、前年同月比は25.6%の減、前月比で2.7%の減、工事費では、前年同月比は29.7%の増、前月比で23.2%の増となっている。（9月）

令和7年9月の公共事業は、件数では、前年同月比で6.6%の減、前月比で26.4%の増、請負額では、前年同月比6.7%の増、前月比17.0%の減となっている。令和7年9月の住宅着工は、戸数では、前年同月比は31.5%の増、前月比で54.5%の増、工事費では、前年同月比は0.7%の増、前月比で35.9%の増となっている。（10月）

■協同組合佐賀県鉄構工業会 事務局長 大坪一徳 氏

業 況：前月同様に工場稼働率が60～100%程度に減少している。工事量、見積り共に少ない状況が続いている。工場稼働に空きが生じており、今後も厳しい環境である。

動 向：全国的に鉄骨需要の低迷が継続しており、仕事量の確保が重要な課題となっているが、ゼネコンの指値攻勢が強まっており、受注単価が下がっている。

問題点：働き方改革で残業規制が厳しくなり、また以前より工事期のずれや遅れが増加し、生産効率が悪化している。このような厳しい中でも利益が確保できる単価で受注することが重要。（9月）

業 況：工場稼働率の低下、工事量、見積り共に減少している。工事量も少なく、今後も厳しい状況が続くと予想される。

動 向：予定していた物件の延期や中止による影響で大手工場の稼働率が60%～70%に落ち込んでいる。先の需要見通しとして年内は現状の厳しい需要環境が続くとみられている。

問題点：受注単価は横ばいであるが、人件費、副資材や消耗品の価格が上昇し採算面は厳しい。コスト上昇分の価格転嫁がまだ十分できていない。（10月）

■佐賀県電気工業協同組合 事務局長 山口光浩 氏

仕事量はあるが、依然として担い手不足が大きな問題であり、将来が見えない状況である。（9月・10月）

■佐賀県東部管工事協同組合 事務局長 大串哲也 氏

9月期の公共工事受注高は8月期より減少しているが、上半期の公共工事受注高は前年上半期の15%増しとなっている。人件費の上昇や、工事材料の値上げによる工事価格の上昇もあると思われる。やっと気温も下がり始め、夏場の作業効率が悪かった分を今から取り戻していく必要がある。（9月）

10月期の公共工事受注高は、9月より増加した。令和7年度の公共工事受注高も令和6年度受注高以上に受注できる見込みである。組合員のほとんどで従業員の確保が一番の課題となっている。（10月）

■佐賀県貨物自動車事業協同組合 専務理事 大江孝文 氏

・9月も荷動きは良くなかった。最近全体的に荷動きが悪くなく、地場、長距離ともにスポット運賃が低下傾向にある。
・燃料価格は、前月比1円/ℓ程度上がっており、補助金10円/ℓが出ているものの、依然として高値が続いている。ガソリンの暫定税率は廃止の方向であるが、軽油については不透明である。（9月）

・10月に入り、荷動きは多少活発に動くようになってきた。その分スポット運賃も後半になるにつれ上昇してきたように思える。

・燃料価格は、前月・前年比ともに1円/ℓ程度安くなっているが、高値であることに変わりはなく。軽油の暫定税率は来年4月より廃止予定であるが、今後の原油価格や為替相場など懸念材料もある。（10月）



組合の若い力が集 U B A い! 佐賀県中小企業青年中央会

R7
05
PRESS

【令和7年度第5回・第6回役員会】

日時 10/28(火)、11/20(木)
場所 佐賀市「中央会ITルーム」

第5回役員会、第6回役員会ともに、青年部講習会、異業種マッチング会、第50回通常総会及び50周年記念式典について話し合いを行いました。

講習会は、最近注目を集めているカスハラへの対策について弁護士の板井京介氏を講師として招聘し講話をいただくこととなりました。

異業種マッチング会については、昨年度と同様九州経済産業局及び佐賀県からご参加いただき、意見交換を行いたいと思います。昨年度の意見交換の中で出た意見を基に補助金が設けられた事例もあり、生の声を政策に活かしてもらう絶好の機会となりますので皆様ぜひご参加ください。

第50回通常総会及び50周年記念式典については、予算やスケジュールの都合上、同時開催とすることとなりました。

内容等については、今後詳細を詰めていく予定です。

上記3つについて、日程が決まりましたので、今後の予定をご確認の上、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。



今後の予定

○異業種マッチング会
日程:2月4日(水)
場所:佐賀市

○第50回通常総会・記念式典
日程:6月12日(金)
場所:佐嘉神社記念館



【組合青年部全国講習会in岩手】

日時 11月14日(金)
場所 岩手県

毎年全国各地で開催される全国講習会が今年は岩手県盛岡市にて開催されました。

当日は2部制で、第1部では嘉悦大学ビジネス創造学部教授の高橋 洋一氏を講師として迎え、「日本経済の現状と、これからの金融・経済政策」というテーマで、内閣府の体制などを絡めての講話があり、第2部では独立行政法人情報処理推進機構(IPA)より

「中小企業が直面するサイバー攻撃の危機と明日からできるその対策」というテーマで、ランサムウェア等の攻撃手法や対策について講話がありました。どちらの講話でも質疑が飛び交い盛会裏に終了しました。

その後は懇親会が開催され、わんこそばの早食い競争などが催され、懇親を深めることができました。



各青年部での活動やイベントのお知らせ等も、これからどんどん紹介・発信していきますので、お気軽にお寄せいただき是非ご利用ください♪

組合青年部で研修会や勉強会を開催されている場合には補助が可能な場合がございますのでお声掛けください。
令和8年度にも計画をされている場合にはお早めにお声掛けいただけると幸いです。

詳細は担当にお問い合わせください。

担当:山口、古賀

佐賀 UBA 所属組合一覧

(会員数: 30会員 441名)

1. 佐賀青果食品(協)青年部
2. 佐賀県自動車整備振興会 青年部
3. 佐賀県果樹青年会
4. 佐賀県
5. 佐賀県印刷人若楠会
6. 陶交会
7. (協)唐津総合卸センター若手会
8. 佐賀新聞販売店(協)若登会
9. 佐賀県造園(協)青年部
10. 佐賀県室内装飾事業(協)青年部
11. 佐賀工場団地(協)青年部
12. 佐賀県電気工事業(工)青年部会
13. 佐賀県漬物工業(協)青年部
14. 佐賀県貨物自動車事業(協)青年部青運会
15. 佐賀県醸造研究会
16. 佐賀県左官組合青年部
17. 佐賀県中古自動車販売(商工)青年部会
18. 佐賀県旅館ホテル(生衛)青年部
19. 佐賀長崎農業機械商業(協)青年部
20. 諸富家具振興(協)青年部
21. (協)佐賀県鉄構工業会 青年部
22. 佐賀県テント・シート(工)青年部
23. 佐賀県瓦事業(協)青年部
24. 佐賀県板硝子商(協)青年部
25. 佐賀県東部管工事(協)青年部
26. 佐賀県環境整備事業(協)青年部
27. 小城羊羹(協)青年部会
28. 唐人町(商振)青年部
29. 佐賀県ビルメンテナンス協会青年部
30. 有田焼卸団地青年部会

佐賀県中小企業青年中央会(佐賀UBA)は、県内経済の次代を担う中小企業組合の青年経営者、若手後継者等の育成を主な目的としています。互いに交流を深め意見を交換しながら、業種の垣根を超えたビジネスの創出、ビジネス・マッチングによる新しい経済活動の創出を目指し活動しています。

加入組合青年部募集!
本会の趣旨に賛同していただける未加入の組合青年部がございましたら、是非加入をご検討ください!!
お問い合わせは事務局0952-23-4598まで。

諸富家具振興協同組合



小さな大工さんたちの挑戦！「第31回 ちびっ子木工コンテスト」開催



令和7年9月4日(木)から9月24日(水)まで、佐賀市役所諸富支所（産業振興会館）ロビーにて、「第31回 ちびっ子木工コンテスト」が開催されました。

夏休みに子どもたちが製作した木工作品が展示され、会場には工夫を凝らした力作がずらり。ユニークなアイデアと丁寧な仕上がりに、訪れた人々が思わず笑顔になる楽しい空間となりました。



このコンテストは、諸富家具振興協同組合が毎年開催しているものです。地元小学校の夏休みの工作課題の一環として、子どもたちの創造力を育み、「親子のふれあいの場」を提供することを目的としています。



諸富家具振興協同組合

📍 佐賀市諸富町為重529-5

☎ 0952-47-5097

生徒さんの作品は組合HPにも掲載されています。



e-Tax なら スマホとマイナンバーカードで 確定申告は自宅で完結！

マイナポータル連携で自動入力！
※事前準備が必要です

給与・医療費
ふるさと納税
などの情報

マイナンバーカードの機能を
スマホに搭載！

だから、
読み取り操作
は不要！

74%の方が
e-Tax を利用

24時間
オンラインで
申告可能！
※メンテナンス時間を除く

マイナンバーカードおよび電子証明書の有効期限にご注意ください。

詳細は、デジタル庁ホームページをご確認ください。

佐賀税務署 確定申告会場のお知らせ

会場

メートプラザ佐賀
佐賀市兵庫北3丁目8番40号

期間

令和8年2月16日(月)～令和8年3月16日(月)
※ 土・日曜日・祝日は休みとなります。(3/1を除く)

受付

午前9時～午後4時

入場方法

LINEによるオンライン事前予約

国税庁LINE公式アカウント▼



※当日受付も行っていますが、相談枠に限りがあるため、相談枠が無くなり次第、当日の受付を終了いたします。



申告期限	所得税および 復興特別所得税・贈与税	令和8年3月16日(日)まで
	消費税および 地方消費税(個人事業等)	令和8年3月31日(火)まで
	事業税・住民税	令和8年3月16日(月)まで

所得税等の確定申告のご相談および申告書の受付期間

令和8年2月16日(月)から同年3月16日(月)まで

※届付申告書は令和8年2月13日(金)以前でも届出できます

確定申告会場での相談を希望される方は、「国税庁LINE公式アカウント」からオンライン事前予約の手続きをお願いします。

e-Tax で確定申告をされる方へのサポート



動画で見る確定申告
申告書の作成手順を動画で
ご案内しています。



チャットボットふたば
確定申告に関するご質問に
チャットボットが応答します。

詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。

確定申告特集



税務署・都道府県・市区町村

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。また、歩きスマホはご遠慮ください。

SAGAのよかとこ SAGALしてみらんね 寄ってみらんね 😊 ~ものづくり企業⑬~



「伊万里鍋島焼協同組合」

組合紹介



佐賀県伊万里市大川内山の「鍋島藩窯」でつくられてきた日本の伝統工芸品である陶磁器「鍋島焼」は、今年で350周年を迎えました。

350周年事業の1つとして、例年開催している「鍋島藩窯秋祭り」をバージョンアップして11月1日(土)～11月5日(水)の期間で行い、長年にわたり執り行われている筆供養などの伝統的な儀式をはじめ、開窯350周年を記念したシンポジウム、伊万里・有田焼伝統産業会館リニューアルオープンなど、今年ならではのイベントも開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。

シンポジウムについては組合YouTubeにて無料公開されておりますので下記QRコード(右)より是非ご覧ください!

住 所: 伊万里市大川内町乙1806番地

T E L: 0955-23-7293

営業時間: 10:00～16:00

定 休 日: 不定休



今後のイベント

献上の歩み展

2026年2月13日(金)～3月12日(木)の期間中、佐賀県立博物館にて「献上の歩み展」が開催されます。

今回は開窯350周年を記念し、これまで献上した作品、全30体を特別に公開します。ちなみに展示台と棚はすべて諸富家具。入場無料となっておりますので、是非会場に足を運んでいただき、350年の伝統と文化を肌で感じてください!

献上とは?

先人たちの偉業と歴史に感謝しつつ、技術の粋を結集した鍋島の伝統と文化を体験し、新しい伝統文化を育んでいくために、ろくろ、絵付け、登り窯での焼成(36時間)など、それぞれの窯元が得意の工程を分担し、すべて手作りで仕上げます。平成元年から鍋島藩窯秋まつりの一環で、九州各県知事や県内の市長、全国の名城所在の首長等に鍋島の献上(鍋島献上の儀)を行い、全部で30体献上されてきました。

直近では、2025年5月27日(火)に石破内閣総理大臣(当時)へ鍋島焼の瓶子、「瑠璃焼締松柏鳳凰文瓶子」を贈呈されました。

また、2025年9月3日(水)～9月5日(金)には、大阪・関西万博の佐賀県ブースに過去の献上品12体が展示され、国内のみならず、海外の人からも注目を集めました。



「佐賀県陶磁器工業協同組合」

組合紹介



昭和5年3月17日地域内同業者の福利増進と相互扶助の精神のもとに共同購入販売事業を目的として有田陶磁器工業組合の名称で発足。昭和24年10月27日中小企業等協同組合法により有田陶磁器工業協同組合に、昭和44年6月には佐賀県陶磁器工業協同組合と名称を改め、地域を佐賀県一円として陶磁器の製造を営む業者、及びそれに関連する事業を営む業者の福利の増進と事業の発展を支えています。

今回、一般のお客様が立ち寄りやすいよう、組合事務所に併設するギャラリーをリニューアルされました。リニューアルオープンに先駆け、オープニング式典が執り行われましたのでご紹介します!

住 所: 西松浦郡有田町外尾町丙1217

T E L: 0955-42-3164

営業時間: 10:00～17:00 (組合)

9:00～16:30 (ショップ)

定 休 日: 不定休



オープニング式典

2025年11月13日(木)
「MONO・NO・SU Ceramists' Gallery & Shop」という名前で、内装・外装も大きく変わりました。ショップ名である「MONO・NO・SU」は以前から「ものづくりの巣」という意味でつけられていましたが、今回からは「観光客の拠点」という意味も込められています。

外装・内装

通り沿いの窓はイベント毎にテーマと日程を発信するウィンドウ広告に。内装は、入口手前がイベント用スペース。奥は50社の窯元がおすすめの商品を並べるギャラリーと観光客も利用できる休憩スペースにリニューアル。休憩スペースについては、食器棚に陳列されている「焼物(25社の窯元)」からお気に入りのコップを自身で選び、お飲み物をお楽しみいただけます。また、組合事務所側スペースも伝統工芸士が直接指導するろくろ体験スペース(期間限定)と絵付け体験スペースに生まれ変わりました。



各種イベント、体験は「Peatix」より事前予約が必要となります。組合HPよりお申込みできますので、イベント情報含め、組合HPをご覧ください!





中央会の活動動向



■秋の褒章・叙勲受章

令和7年秋の褒章・叙勲受章者が決定され、佐賀県酒造協同組合 馬場第一郎理事長が藍綬褒章を、佐賀県管工事協同組合連合会 原田恵三理事長・佐賀商工振興協同組合 中村直紀理事長が旭日双光章を受章されました。

藍綬褒章とは会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興・社会福祉の増進等に優れた業績を上げた方に贈られる章です。旭日双光章とは産業や文化の振興・発展など社会の様々な分野で長きにわたり顕著な功績を挙げた方に贈られる章です。

■佐賀県理容生活衛生同業組合 世界大会「金」メダル

佐賀県理容生活衛生同業組合の組合員である篠田隼氏が、理容日本代表チームの一員として、世界理容美容技術選手権大会に出場し、メダルを獲得されました！

世界理容美容技術選手権大会は、9月にフランス・パリで開催され、42か国から約850人が参加し世界最高の技術を競う理美容の祭典です。篠田氏は大会出場にあたり、営業を終えた21時ごろから1日1～3時間練習を積み、直前の1か月前は未明まで5、6時間を大会準備に費やされたそうです。その結果、バーバーカテゴリーの「コマーシャルフェードカット・ロースキンフェードカット」で個人銀メダル、クラシックカテゴリーの「ロースキンフェードカット」で個人銅メダルを獲得されました！また、篠田氏の優秀な成績が、出場選手上位3人の合計点で競う団体で、日本のバーバーカテゴリー金メダル、クラシックカテゴリー銀メダル獲得の原動力となりました！



大会当日の篠田選手

■令和8年分の源泉徴収事務について

年末調整事務の際にご確認された方も多いかと思いますが、令和8年1月1日以降の給与所得に係る源泉徴収事務について、主に4つ変更点がありますのでご注意ください。

①基礎控除の見直し

→所得税の基礎控除について、合計所得金額に応じ基礎控除額が改正されました。

②給与所得控除の見直し

→給与所得控除の最低保証額が55万円から65万円に引き上げられました。

③特定親族特別控除の創設

→19歳以上23歳未満の親族等について、控除対象扶養親族としての所得要件を超えた場合にも一定の所得控除を受けられる仕組みが導入されました。

④同一生計配偶者や扶養親族等の所得要件の見直し

→同一生計配偶者や扶養親族等の合計所得金額等の金額要件が引き上げられました。

★詳しくは国税庁の資料をこちらのQRコードからご確認ください → → →



佐賀県生コンクリート工業組合 林野火災に備えた合同訓練の実施

令和7年11月16日、佐賀県生コンクリート工業組合
が地元消防機関と佐賀市金立こいの広場で林野火災
を想定した合同訓練を実施されました。

佐賀県生コンクリート工業組合
佐賀県生コンクリート協同組合

① 多久市東多久町大字別府2426-2
② 0952-76-2675



平成29年に締結した災害時支援協定に基づく取り組みで、合同訓練は昨年から実施されています。今回は今年岩手県で発生した大規模山林火災を踏まえ、林野火災を想定した内容となりました。訓練には組合員や消防局、消防団から約60人が参加し、補給用の水を積んだミキサー車が出動し簡易水槽へ給水などの手順を確認、さらに消防車両との連携やドローンによる状況確認、放水訓練なども行われました。

国上政勝常務理事は「林野火災は一度発生すると、延焼範囲が広く、消火活動が困難。訓練を通じて連携体制を確認し、地域防災力を高めることは重要だと認識している。我々も建設業の一員として、平時、災害発生時ともにできる限りの協力をしていく。」と述べ、消防との協力が地域防災に欠かせないことを示されました。

これからの行事・イベント

※変更や中止等もございますので、詳細は各主催者にお問い合わせください。

【JU佐賀 中古車フェア】

2026年2月、イオンモール佐賀大和駐車場にて中古車フェアを開催します!出品台数は150台で県内最大級の規模です。成約特典等もご用意しておりますので、ぜひお誘いあわせの上ご来場ください♪

日 程: 2026年2月7日(土)～11日(水・祝)

時 間: 10:00～17:00

場 所: イオンモール佐賀大和駐車場(佐賀市)

主 催: 佐賀県中古自動車販売商工組合(JU佐賀) TEL: 0952-30-5625

【佐賀城下ひなまつり】

佐賀藩鍋島家伝来のひな人形をはじめ、鍋島小紋や手織り佐賀錦などのおひなさま、佐賀の子供たちが作ったひな人形などが佐賀城と城下町に並び、佐賀ならではのひな祭りです。佐賀の伝統的なお菓子屋限定のお土産、伝統工芸品作品などもございますので、ぜひ足を運んでみてください♪

日 程: 2026年2月14日(土)～3月15日(日)

場 所: 佐賀市歴史民俗館、徴古館、佐賀城本丸歴史館 他

主 催: 佐賀城下ひなまつり実行委員会 TEL: 0952-20-2200

編集後記

熱い夏、暑い秋が過ぎ去りようやく過ごしやすくなったと思ったら、あっという間に冬になりましたね。日が暮れるのも早くなりましたが、イルミネーションがキラキラと輝き、街に明るさをもたらしてくれています。

寒い中ですが、冬ならではのさまざまなイベントもあり、思い切っ
て出かけると楽しい気分になります。皆様もLinkの「これからの
行事・イベント」情報コーナーを参考に出かけてみてください。新
しい発見があったり、楽しい思い出が増えること間違いなしです。

組合の各イベント情報も掲載しておりますので、是非、中央会ま
で情報提供をお願いします! (T.J)

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

組合活性化情報誌 **Link** リンク NO.273

令和8年1月1日発行



佐賀県中小企業団体中央会

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号
佐賀商工ビル6階

TEL.0952-23-4598 FAX.0952-29-6580

URL <http://www.aile.or.jp> E-mail staff@aile.or.jp

65歳で再雇用が
終わる社員から
もう少し働きたいと相談があった。
今までの経験を活かせる
再就職先はないかな？

一時的に社員の
仕事がなくなってしまう。
そんな時どうすれば
いいの？

採用って難しい。
当社に合う人を紹介
してくれたら
助かるのに。

雇用の問題 お悩み解決のための サポートをします！

ハラスメント防止など
セミナーの必要性は
感じているが、
なかなか手が回らない。

他社に出向して
広い視野を持ってもらい、
当社の業務改善に
つなげたい。

早期退職を
募らなくてはいけなくなった。
従業員の次の就職先を
見つけたい。

安心のサポート

そうだ
相談してみよう



産業雇用安定センターとは？

1987年（昭和62年）労働省（当時）、日経連、産業団体などが協力して、
「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。
以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートしています。



全国の労働局・
ハローワークと
連携



全国
47都道府県に
事務所を設置



相談・紹介・
仲介・斡旋の
費用は無料



設立以来、
26万人の
再就職・出向の
支援実績



1人の求職者に
一人の
コンサルタントが
マンツーマンで
サポート

お問い合わせ先



公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇）佐賀事務所

〒840-0816 佐賀市駅南本町6番4号 佐賀中央第一生命ビル10階

TEL：0952-22-7163 FAX：0952-27-9163

ご利用時間

9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

<https://www.sangyokoyo.or.jp>

産業雇用

検索



さが共済の“各種共済制度”

個人・企業の財産

(建物・家財・設備什器等)
に関する共済

○火災共済^{*1}

○自動車総合共済^{*2}
○自動車事故費用共済

自動車

に関する共済



建物が燃えた

台風で瓦が
飛んだ

土砂崩れで家が
全壊した



病気入院した



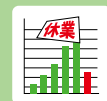
仕事中にけがを
をした



料理中にやけど
をした



従業員が
けがをした



事故による休業で
売り上げが減った



けがで就業
不能になった

病気やけが

に関する共済

○医療総合保障共済^{*2}
○傷害総合保障共済^{*2}
○生命傷害共済
○交通事故傷害共済^{*2}

○労働災害補償共済^{*2}
○中小企業者
総合賠償責任共済
○所得補償共済
○休業補償共済
○休業対応応援共済^{*2}

企業・経営者の備え

に関する共済

今月の
PICK UP!

* 1 (共同元受) 佐賀県火災共済共同組合・全日本火災共済協同組合連合会

* 2 (元受団体) 全日本火災共済協同組合連合会

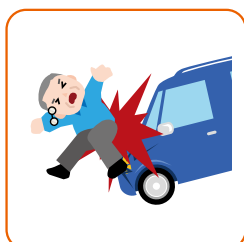
今月の
PICK UP!

『自動車総合共済』

～自動車に関するリスクに備える～

警察の統計によると、佐賀県は、人口10万人当たりの人身交通事故発生件数が令和5年度は全国ワースト4と依然として状況は深刻なものとなっております。

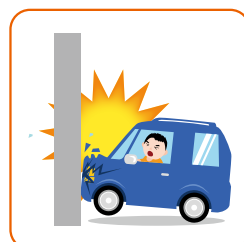
自動車総合共済では、相手方への賠償（自動車事故により、他人にけがをさせたり、他人のものを壊してしまったとき）をはじめ、お客様ご自身や搭乗者の補償（自動車事故によりご契約のお車に同乗中の方がけがをされたとき）、そしてお客様の車の損害についても補償します。



歩行者にけがをさせた



他人の車に衝突した



事故でけがをした



洪水で車が水没した

近年、交通事故における賠償額は高額化しており、対人賠償では5億2,000万円、対物賠償では2億6,000万円を超える判決例もあります。当組合では、これらの賠償リスクを補償する共済や、お客様自身のおけがやお車の損害を補償する共済をご用意しておりますので、お気軽にお問合せ・ご相談ください。

本文書は共済制度の概要について記載した案内文書です。詳細につきましては、組合または取扱代理所へお問い合わせください。
なお、共済金をお支払いできない場合等につきましては自動車総合共済約款、および自動車総合共済パンフレットをご覧ください。



今日も明日も安心
さが共済

佐賀県火災共済協同組合

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル6F

TEL 0952-24-6984 FAX 0952-24-6907 <https://www.sagakenkasai.org/>

2024年7月1日以降用